

令和3年度 町民アンケート調査

調査実施計画書（案）

令和3年5月

[目 次]

1 町民アンケート調査	1
1-1 町民アンケート調査の設計	1
1-2 分析イメージ	4

1 町民アンケート調査

1-1 町民アンケート調査の設計

1-1-1 調査概要

(1) 調査目的

- 女川町では、平成 30 年度に策定した「女川町地域公共交通網形成計画」に基づき、令和 3 年 10 月 1 日から町民バスの再編を実施する。
- 目標の達成状況や効果の発現状況、運行内容の使い勝手、新たに発生した課題などを把握し、町民バス再編の効果検証や運行内容の改善の検討材料を収集するため、町内の全世帯を対象に、再編前後の計 2 回「町民アンケート」を実施する。
- 事前と事後の調査の位置づけについては、それぞれ以下のとおりとする。
 - ◇事前：日常の外出状況を把握するとともに、現状の町民バスの利用状況を把握する。
 - ◇事後：再編による利用実態の変化を捉えるとともに、再編内容に対する満足度や使い勝手を把握する。

(2) 調査項目

【事前】

- 町民の外出実態にマッチした運行になっているか
⇒買い物、通院、通勤・通学の移動実態
- 再編前後で町民バスの利用実態に変化があったか
⇒町民バスの利用実態

【事後】

- 期待した効果が発現しているか
⇒既存利用者の利用頻度の増加、新規利用者の増加
外出頻度の増加、外出先の増加など
- 再編目的が達成されているか
⇒公共交通維持確保の視点
福祉・健康増進の視点
まちの賑わいの視点
公共交通の利便性の視点
- 再編内容に対する使い勝手に問題はないか
⇒ダイヤ・バス停・ルート・乗継状況などに対する改善要望・意見

(3) 調査対象

- ・女川町内の町広報紙配布世帯〔R2実績：町広報紙配布対象 2,692 世帯〕

(4) 調査方法

- ・町広報紙と一緒に調査票を配布し、郵送にて回収する。
- ・世帯の中で、公共交通を最も利用される方に回答してもらう。
- ・以下のア、イを配布用封筒（角2）に封入・封緘した状態で配布する。
 - ア) アンケート調査票（A4、モノクロ、8頁）※依頼文を含む
 - イ) 返信用封筒（長3）※料金受取人払で、返信先は調査委託先、(株)KCS東北支社とする。

(5) 配布部数

- ・配布部数は約 2,700 票を想定する。

(6) 実施スケジュール案

- ・事前は再編 3 か月前の 7 月、事後は再編 1 か月後の 11 月に設定する。

【事前】

- ・調査票設計：令和3年5月31日（月）
- ・印刷データ作成：令和3年6月1日（火）～6月10日（木）
- ・印刷・発送準備：令和3年6月11日（金）～6月25日（金）
- ・町民アンケートの発送：令和3年6月下旬 ※7月号町広報紙配達日
- ・調査期間：**令和3年7月1日(木)～7月14日(水)※通数によるが2週間程度確保**
- ・回収締切：令和3年7月14日（水）
- ・集計・分析：令和3年7月中旬～8月中旬

【事後】

- ・調査票設計：令和3年9月30日（木）
- ・印刷データ作成：令和3年10月1日（金）～10月7日（木）
- ・印刷・発送準備：令和3年10月8日（金）～10月22日（金）
- ・町民アンケートの発送：令和3年10月下旬 ※11月号町広報紙配達日
- ・調査期間：**令和3年11月1日(月)～11月14日(日)※通数によるが2週間程度確保**
- ・回収締切：令和3年11月14日（日）
- ・集計・分析：令和3年11月中旬～12月中旬

1-1-2 調査票の設計

- 以下の考え方に基づき、設問を設定した。

表 調査の項目一覧

狙い	分析イメージ	設問	事前	事後
属性別の傾向を分析する	回答者の属性によるクロス集計	性別	●	●
		年齢	●	●
		免許の保有状況	●	-
		自動車運転の継続意思	●	-
町民の外出実態を明らかにする	日常生活における外出実態と町民バスのミスマッチを整理する	行き先	●	-
		外出頻度	●	-
		外出する曜日	●	-
		外出時間	●	-
		交通手段	●	-
期待した効果が発現されているかを明らかにする	新規利用者の増加や既存利用者の利用頻度が向上されているか整理する	利用状況	●	●
		利用頻度	●	●
		利用した便	●	●
		主な利用の目的	●	●
		目的地・目的施設	●	●
		お出かけの変化	-	●
		利用する理由	●	●
利用しない理由	●	●		
再編内容の使い勝手を評価し、改善が必要な問題点を明らかにする	利用者・非利用者によるサービス項目別の満足度を整理する。非利用者については、どのサービスを見直すことで利用に繋がる可能性があるのか整理する	再編内容に対する評価		●
		再編内容に対する改善要望		●
有償化に対する町民の考えを踏まえ、運賃の適正価格を捉える	利用者・非利用者や年齢層による支払い意思額の傾向を整理する	運賃設定に対する考え	-	●
		支払い意思額	-	●
公共交通に対する意見・要望を捉える	公共交通に対する意見・要望から新たなニーズを整理する	自由回答	●	●

1-1-3 設問（案）

- 調査票を別紙に示す。

1-2分析イメージ

(1) 期待した効果が発現しているか

- ・再編により、住民の町民バスの利用率は●%から●%に●ポイント増加した。
- ・再編後に新たに町民バスを利用した人が全体の●%を占める
- ・町民バス利用者の乗継状況をみると、再編前後で●%増加した。特に、五部浦便、北浦便との乗継が●%を占める。
- ・町民バス利用者の外出頻度が再編前後で●%増加した。
- ・町民バス利用者の●割は、再編後に新たな外出先が増えた。
など

(2) 再編目的が達成されているか

①公共交通維持確保の視点

- ・町民アンケート回答者の●%は再編後に町民バスの利用経験あり（●%が再編を認知）。
- ・町民バス利用経験者の●%は「既存の町民バスの利用頻度が増加」または「新たに町民バスを利用」と回答。
- ・町民バスを利用した理由として、運行頻度が最も多く●%、次いで無料が●%を占める。
など

②福祉・健康増進の視点

- ・町民バス利用者の●%は高齢者が占める。特に、女性高齢者が全体の●%。
- ・町民バス利用者の●%は、実証試験中に外出が増えたと回答。
など

③まちの賑わいの視点

- ・町民バス利用者の●%は、公共交通利用の新たな外出先が増えたと回答。
- ・利用者の利用目的をみると、再編前後で「通院」利用が●%増加、次いで「●●」が●%増加した。
など

④公共交通の利便性の視点

- ・町民バスの利用理由で「一度に複数の用事を済ませることができるから」と回答した人の●%が中心部の居住者、●%が半島部の居住者。
など

(3) 実証試験の運行内容に対する使い勝手に問題はないか

- ・再編前後の運行内容に対する評価について、満足度が最も増加した項目は「運行本数」が最も高く●pt、次いで「〇〇」で●ptとなっている。
- ・自由意見をみると、「〇〇」や「〇〇」に対する意見が挙がっている。
など